

2010九州オープンゴルフ選手権競技 決勝

開催日：平成22年9月3日(金)・4日(土)・5日(日)

開催コース：ザ・クラシックゴルフ倶楽部

九州ゴルフ連盟

競技の条件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 使用球の規格
 - a. 『公認球リストの条件・ゴルフ規則付 I (c)1b』を適用する。(ゴルフ規則 186 ページ参照)
 - b. ラウンド中に使用する球について、『ワンボール条件・ゴルフ規則付 I (c)1c』を適用する。(ゴルフ規則 186 ページ参照)
4. 使用クラブの規格
『適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付 I (c)1a』を適用する。(ゴルフ規則 184 ページ参照)
5. スタート時間
『ゴルフ規則付 I (c)2』を適用する(ゴルフ規則 187 ページ参照)。
6. 競技終了時点
本選手権競技は、競技委員長が成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
7. プレーのペースについて(ゴルフ規則 6-7 注 2)
各ホールでのプレーに許される時間の限度を記載した「タイムパー」をスタート時に配布するので、これに遅れないこと。特にトラブルもないのにこの時間より遅れた場合(アウトオブポジション)、ストロークに要する時間を個別に計測する。
 - (1)アウトオブポジションの定義
 - (a) あるホールでのプレーを終えた時点で、スタートからそこまでの実際所要時間の合計が、タイムパーに記載された時間をオーバーした場合
 - (b) 第2組以降の組では、前の組との間隔が1ホール以上(パー4のホールを基準)空いた場合

注:(a)(b)の両方にあてはまるときに、その組はアウトオブポジションとなる。
 - (2)アウトオブポジションとなった組に対する措置
ある組がアウトオブポジションとなった場合、競技委員は警告を与え、その組の各競技者のショットに要する時間を計測する。ただし、特別の事情があれば競技委員よりその組に対して前の組との間隔を縮めるように求めるが、合理的時間内に遅れを取り戻すことができれば、各競技者のショットに要する時間は計測しない。特別の事情とは例えばルーリング、紛失球などのトラブルをいう。
 - (3)ストロークするための許容時間
アウトオブポジションとなった後、遅れをとり戻すまでの全てショットの制限時間は「40秒」とし、プレー時間の計測は、その競技者のプレーの順番が回ってきた時に開始する。ただし、パー3ホールにおいて最初にプレーする者、パー4とパー5のホールにおいて第2打を最初にプレーする者、グリーン周辺やグリーンの上で最初にプレーする者のショットの制限時間は「50秒」とする。制限時間をオーバータイム(タイムオーバー)した場合、プレーヤーは違反回数に応じて(4)の罰を受ける。アウトオブポジションとなった組は、その後で遅れを取り戻しても、そのラウンド中のタイムオーバーの回数は持ち越す。
 - (4)罰則 **タイムオーバー1回目-1罰打/タイムオーバー2回目-2罰打/タイムオーバー3回目-競技失格**
8. プレーの中断と再開
 - (1)プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b, c, dに従って処置すること。
 - (2)険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間を歩いているときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールでのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は**競技失格**とする。

この条件の違反の罰は競技失格(ゴルフ規則 6-8b 注)
 - (3)プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断:短いサイレンを繰り返して通報する。またはサイレンを使用せず本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。
険悪な気象状況による即時中断:1回の長いサイレンを鳴らして通報する。
プレーの再開:1回の長いサイレンを鳴らして通報する。
9. 移動
正規のラウンド中の移動について『ゴルフ規則付 I (c)9 移動』を適用する。(ゴルフ規則 192 ページ参照)
10. キャディー
正規のラウンド中、プレーヤーが本競技に出場している他のプレーヤーをキャディーとして使用することを禁止する。(ゴルフ規則 188 ページ参照)

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
3. テラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. クローズド(Closed)の標示のある予備グリーンはプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、競技者は、ゴルフ規則 25-1b(i)の救済を受けなければならない。**このローカルルールの違反の罰は、2打。**
7. 樹木保護のための巻物施設(巻網など)は、コースと不可分の部分とする。

注意事項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティインググラウンド付近に掲示して告示する。
2. グリーン保護のため、メタルスパイクシューズおよびタウン用シューズの使用を禁止する。必ずコース専用のシューズに履き替えること。
3. 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人25球を限度とする。
4. 9ホール終了後、プレーを遅らせなければクラブハウスに立ち入ることができる。
5. スタートの呼出は一切行わないので、スタート時間10分前までにはスターティングホールに待機すること。
6. 競技前日の練習は、アウト、インともスタートを14時で打ち切る。

競技委員長 古賀 秀策